

～ケータイ・インターネット講習会開催しませんか～

いま、ケータイからスマホへ 便利さ、楽しさの裏に潜む危険な話

～スマホデビューは中学生？ 学校、家庭でのルール作りが必要です！～

LINE などの新しいコミュニケーションツールを使う子どもや若者が爆発的に増えています。簡単につながることが出来る便利さの反面、人間関係のトラブルに巻き込まれるケースも非常に増えています。子ども達は何故ネットを通じてコミュニケーションをとろうとするのか、など最新の事例をご紹介。ケータイ・スマートフォンを通して思春期の子どもと向き合うためのセミナーです。

“LINE疲れ”に陥る学生たち 「返信は義務」80% 既読機能が苦痛

2013.8.31 06:12 (1/3ページ) [Twitter・SNS]

便利なコミュニケーションツールとして利用者が増え続けている「LINE」。7月には、サービス開始からわずか2年で世界の利用者が2億人を突破した。無料に加え、大勢の仲間と同時に通話やメッセージのやり取りができることから、大学生には必須アイテムだ。ところが、相手にメッセージを読んだことを伝える「既読」表示機能が、精神的なプレッシャーとなるなど、“LINE疲れ”に悩む学生が少なくないという。関西大学総合情報学部・谷本奈



内 容 (60分～)	備 考
小・中・高校生と携帯電話&インターネットの現状を知る ・ LINE、動画共有サイト、個人情報流出 ほか	必要な機材 ・ パワーポイント ・ プロジェクター ・ スクリーン
児童生徒が関連した事件の事例紹介 ・ 掲示板への書き込みで逮捕されることも ・ メールでのトラブル SNSで炎上 ほか	
トラブルの予防と対処 ・ 地域・学校・家庭の役割の確認 ・ 削除の方法などの技術的な対処法を学ぶ ・ 相談機関	
まとめと質疑応答	

特定非営利活動法人 さんぴいす

〒659-0066 芦屋市大槻町7-2-301

TEL 0797-22-8896

アドレス info@sanspi.com

公式サイト http://sanspi.com

～保護者・教師のためのケータイ・スマホ・ネット講習会を開催しませんか？～

■ 講習会の内容について

LINE、Twitter、メールでのトラブル、個人情報の流出…。今子どもたちを取り巻く環境がどうなっているのかをわかりやすくご説明し、対処法を参加者と共に考える形式の講習会です。子どもを守るための予防策はもちろんのこと、実際に問題が起こってしまった際の対処法を考えることがこれからはますます重要と思われる中、地域・学校・家庭の役割を再確認しませんか。

パソコンを使わない講義形式でも、パソコン教室を使い実際に有害サイトなどを見て頂くワークショップ形式でも、どちらにも対応させて頂けますので、ご希望や実施予定会場の環境等もお知らせ下さい。

また、事前に知りたい内容などをお伝えいただけましたら、その指示に従いアレンジは可能ですのでご要望をお伝え下さい。

※教員・保護者だけでなく、児童生徒への授業も実践します。オープンスクールなどにも対応可能です。

■ 講師紹介 ■

特定非営利活動法人さんびいす
理事長 河口 紅



関西大学卒業後、(株)リクルート入社。退職後は教員を対象とした情報教育研修トレーナーとして各地の教育委員会で研修実施。

その後、教育コーディネータとして、兵庫県下の高等学校での勤務経験をもつ。

現在は保護者や教員を対象とした「携帯電話・インターネット問題を考える」講習会を各地で実施。

- ・兵庫県立大学非常勤講師
- ・阪神南泉民局認定：子どもを守る携帯インストラクター

～主な実績～

2015年度は5,000人以上が受講されました

- ・東大阪市教育委員会研修
- ・東大阪市内小・中学校10校に授業実践、PTA研修
- ・宝塚市内小学校5校で授業実践
- ・京阪神の私立学校での教員研修、PTA研修、児童生徒への授業など

講演テーマ

- ・LINEなどのSNSとの付き合い方
- ・ケータイ、スマホ 親子でのルール作り
- ・画像から個人情報が流出？
- ・動画投稿サイトの実態
- ・人権問題からSNSを考える
- ・スマホ依存と学力について ほか

【講習会・講演のお問い合わせは、FAX0797-63-5566まで】

団体名	ふりがな	担当者
ご住所	TEL	FAX
メールアドレス		
ご希望をお聞かせください。	① 講習会を実施したい ② 講演を依頼したい ③ 詳しい内容を説明してほしい	

■ 講師料について

講師料につきましては、講師1名で実施させて頂いた場合、交通費込みで3万円前後を頂いております。

※ ある程度、ご予算に応じて対応させて頂けますので、お気軽にご相談下さい。